

# 第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

| 大学名（フリガナ）         | 学部名（フリガナ）         | 所属ゼミナール名（フリガナ） |
|-------------------|-------------------|----------------|
| フリガナ）ケンリツヒロシマダイガク | フリガナ）ケイエイジョウホウガクブ | フリガナ）パク ユイシン   |
| 県立広島大学            | 経営情報学部            | 朴 唯新 ゼミ        |

| チーム名（フリガナ）  | 代表者名（フリガナ）   | チーム人数（代表者含む） |
|-------------|--------------|--------------|
| フリガナ）バックンチョ | フリガナ）ショウ カンタ | 4            |
| ぱっくんちょ      | 庄 幹太         |              |

## 研究テーマ（発表タイトル）

江田島が危ない！～稲盛大作戦～

### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

本研究は、京セウの創業者である稲盛和夫氏の「楽観的に構想し、悲観的に計画し、楽観的に実行する」という言葉が、地域の再生に適応可能であるかを探求したものである。この仮説が立証可能か、江田島市と協力し検証する。本研究を検証するにあたり、ワークショップやデータ分析などの一次・二次情報を用いて人口減少の要因、解決案を考え、さらに、江田島市の再生にも携わる。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

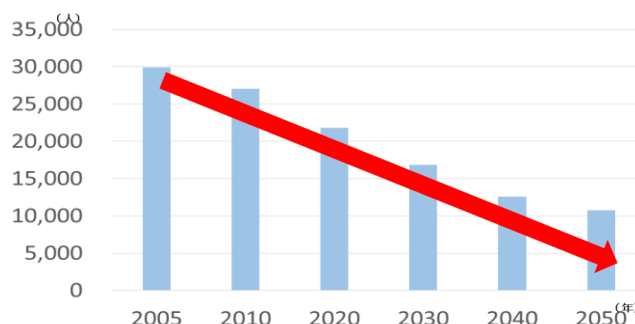
近年、多くの市町村では人口が減少し、過疎化が進む地域が大幅に増加している。（図表 1）今回、私たちが取り上げる江田島市は過疎地域の 1 つだ。人口推移を見ると、2015 年から 2020 年にかけて総人口の **10.6%**が減少している。（図表 2）全国平均は 0.8%の減少であるため、江田島の人口減少は著しいことは明確だ。さらに、自然動態（出生・死亡）、社会動態（転入・転出）別にみても共にマイナスとなっていることが分かる。自然動態に着目すると、合計特殊出生率は、江田島市は 1.472 人であり、全国平均より高いが広島県平均より低いことが読み取れた。また、社会動態に着目すると、男女別に見て、男性では **30 代**、女性では **20 代**で著しく減少している。以上のことから、男性は、転職や結婚、自宅購入時に純移動数が増加し、女性は、大学進学や就職時に大幅に増加しているのではないかと考えられる。その結果、生産年齢人口は、1980 年から 2020 年にかけて 16,310 人減少しており、他の市町村と比較しても減少は著しい。

図表 1 過疎化が進む地域の人口推移



（出典：総務省統計局）

図表 2 江田島市の人口推移



（出典：江田島市提供データ）

### 3. 研究テーマの課題

稲盛氏の言葉が地域の再生に適応可能か江田島を事例に挙げて探求するにあたって、我々は、人口減少を食い止める必要があると考えた。その結果、人口減少の要因は以下の 3 つであるという考察に行き着いた。**教育環境が整っていない、仕事が少ない、健康意識が低い**という 3 つである。これらの改善策を提案することが今回の研究の課題である。この 3 つを改善することで人口減少を止めることができ、江田島を活性化させ、再生させることが可能なのではないかな。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

課題の解決に向け、稲盛氏の言葉に当てはめながら策を考え、江田島市に提案する。

我々は、ワークショップを通じて島民の方が強く主張していた、島にあるものを生かしたいということに基づに 3 つの案を考えた。1 つ目は農家と連携した授業内容である。これは、島でしかできない教育を行うことによって江田島で教育する意味を見いだすことが狙いだ。2 つ目はオリーブの販売場所や生産の幅の拡大である。江田島内でオリーブに関連した仕事を増加させることが狙いだ。3 つ目は島の特産を使った料理イベントの開催である。作る・食べるという 2 つの過程で新たな交流の機会を作ることが狙いだ。**（楽観的な構想）**以上の 3 つの提案を江田島市に送り、江田島市役所の方からフィードバックを頂いた。**（悲観的な計画）**（図表 3）

その結果、農家と連携した授業は改善すれば実現可能性があるという前向きな返答を頂いた。農家と連携した授業内容はずでに実践中であるため、まだ行ったことのない江田島の特産オリーブで学校菜園をおこなうことを再提案し、再度江田島市役所の方からフィードバックを頂いた。（図表 4）1 年生で苗を植え、4 年かけて実ができるまで育て、5・6 年時に調理実習で実食する。調理実習で作った料理は地域や保護者の方にふるまう。また、収穫・調理実習の際には他の地区の小学生を招くことによって、交流の場を創出する。さらに、職業体験にもなる。以前の提案より島の個性を生かしたものになるよう改善した。**（悲観的な計画）**

図表 3 提案と一回目のフィードバック

| 提案                                                                                                        | 質問                                                                                                        | 回答                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学校菜園でオリーブを育て、収穫したオリーブを調理実習で実食する。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> | <p>学校菜園でオリーブを育て、収穫したオリーブを調理実習で実食する。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> | <p>学校菜園でオリーブを育て、収穫したオリーブを調理実習で実食する。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> |

図表 4 再提案と二回目のフィードバック

| 提案                                                                                                        | 質問                                                                                                        | 回答                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学校菜園でオリーブを育て、収穫したオリーブを調理実習で実食する。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> | <p>学校菜園でオリーブを育て、収穫したオリーブを調理実習で実食する。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> | <p>学校菜園でオリーブを育て、収穫したオリーブを調理実習で実食する。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> <p>オリーブの苗木を農家から購入し、学校菜園で育てる。</p> |

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

2019 年 7 月 10 日

江田島市担当職員を招き、現状の把握を行った。事前に調べておいた現状と、江田島市職員の方が調査してくれたデータが一致しているかの確認をした。また、我々では調査しきれなかったデータをもらった。各項目のデータの変動の背景や原因など、江田島市の方だからこそ分かる情報や意見について質問し、把握した。

2019 年 8 月 26 日

実際に江田島を訪れ、現地の現状を自らの目で把握するとともに、ヒアリングを行った。具体的には、江田島市の観光地や施設を訪れ、島の雰囲気を感じた。訪れたことによって、いい面と悪い面を自分の目で確かめることができた。



写真 1 ワークショップの様子

2019年9月29日

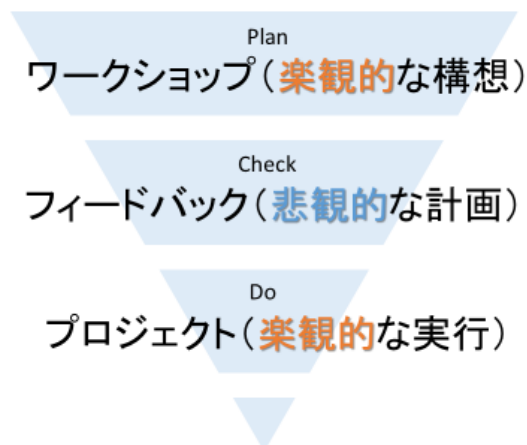
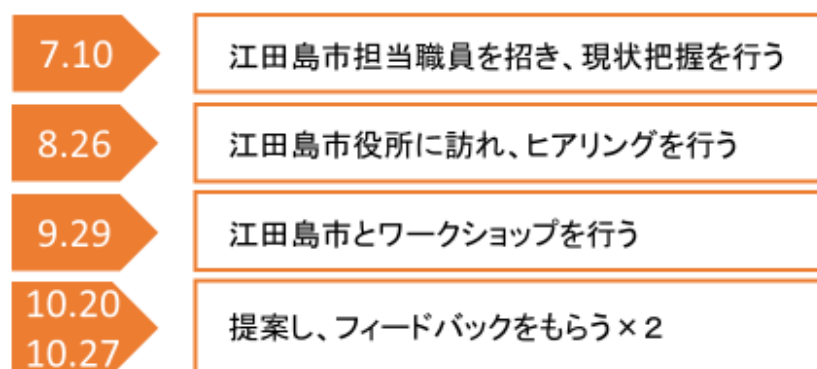
島民の生の意見を聞くために、江田島市「まち・ひと・しごと創生」市民ワークショップに参加した。江田島市民、江田島市役所職員、外部の学生とともに3つのグループに分かれ江田島市の未来をよくするためのアイデアワークを行い、現状・課題についての理解を深めた。また、それを踏まえて課題解決をするための提案についても意見交換を行った。

2019年10月20日

我々の提案をメールで送り1回目のフィードバックを頂いた。提案に加え、それに関連する質問を送った。具体的には、実現可能性や着眼点など、今後の提案につながるような内容にした。

2019年10月27日

改善を施した提案にフィードバックをもらうために再度江田島へ伺った。ここでは実際に、それぞれの提案に対して点数を付けていただき、評価された点と改善点について詳しく指摘して頂いた。

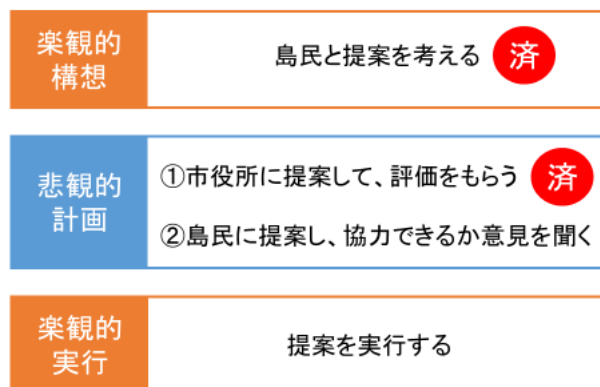


## 6. 結果や今後の取り組み

### 【結果】

稲盛氏の「楽観的に構想し、悲観的に計画し、楽観的に実行する」という言葉は、地域の再生にも適応できると現段階では断言できない。現在、我々の研究では、楽観的に構想し、悲観的に計画をする部分の1つ目までは順調に進んでいるといえる。しかし、悲観的な計画の2つ目と、最も難しいとされる楽観的に実行するところまでは実現できていない。私たちの提案に対する評価・改善点を江田島市だけでなく、江田島市民の方々から頂き、何度も試行錯誤を繰り返し、利害関係者から合意形成を行う。その結果、江田島市の政策の一つでも組み込み、経過を観察し実際に人口減少を食い止めることができれば、そこで初めて稲盛氏の言葉は地域の再生にも適応できると言えるのではないかな。

図3 実現段階



### 【今後の取り組み】

今後の取り組みとしては、我々の提案を江田島市の政策に組み込めるよう、改善を繰り返すことである。具体的な方法としては、我々の再提案を担当職員を通じて、項目ごとに市のプロフェッショナルへと持っていき、様々な視点からの意見を頂く。また、江田島市民の方々からも評価や改善点、協力していただけるかの意見を頂く。これを何度も繰り返すことによって、より実現性の高い提案となる。

その結果、今後の江田島市の政策に取り込みたい。

## 7. 参考文献

● 江田島市役所ホームページ

(<https://www.city.etajima.hiroshima.jp/cms/>) 2019.11.6

●えたじまん

(<https://www.go-etajima.net/etajiman.html>) 2019.11.6

●江田島オリーブファクトリー

(<http://www.hiroshima-olive.jp/etajima-olive-factory/>) 2019.11.6

●隠岐島前教育魅力化プロジェクト

(<http://miriyokuka.dozen.ed.jp/>) 2019.11.6

●地域経済分析システム

(<https://resas.go.jp/#/13/13101>) 2019.11.6

●京セラ株式会社

(<https://www.kyocera.co.jp/>) 2019.11.6

●小豆島オリーブ株式会社

(<http://www.s-olive.co.jp/>) 2019.11.6

●総務省統計局

(<https://www.stat.go.jp/data/nihon/02.html>) 2019.11.6

●総務省

(<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h24/html/nc112130.html>) 2019.11.6

●江田島市提供データ

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物（例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

【企画シート作成上の注意】※「第10回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑